



# 高校生×プラザ×国際都市札幌 市立高校生アイデア・コンテスト 【事業報告】

## 【事業概要】

開催日時：平成 25 年 12 月 15 日（日）10:30～16:30

開催場所：札幌国際ビル 8 階 国際ホール（中央区北 4 条西 4 丁目）

主 催：公益財団法人札幌国際プラザ

共 催：札幌市立高等学校・特別支援学校長会

後 援：札幌市教育委員会

札幌国際プラザのビジョンを実現するための事業アイデアを、市立高校生 26 チームが公開プレゼンテーションで提案。西村教育次長ほか計 4 名の審査員による審査の結果、最優秀賞 1 チーム、優秀賞 2 チーム、審査員特別賞 1 チームが表彰されました。



## 【表 彰】

|         |  |
|---------|--|
| 最 優 秀 賞 | 札幌市長へのプレゼン機会の提供<br>【副賞】ポータル派遣権利および渡航費 1 人 5 万円 |
| 優 秀 賞   | 希望する在札外国公館への訪問アレンジ<br>【副賞】図書カード 1 万円券          |
| 審査員特別賞  | ミュンヘン・クリスマス市オリジナルグッズ一式                         |
| 参 加 賞   | 図書カード 1,000 円券（全員）                             |



## 最優秀賞

「イスラムの祈り」

発表者：札幌清田高校 2 年 中西朝美・向井夕菜

近年イスラム教徒が多いマレーシアとインドネシアからの観光客が増加していること、世界のイスラム教の割合も増加傾向にあることに着目。修学旅行で訪問したマレーシアのホテルで目にした、メッカの方向を示す「KIBLAT（キブラット）」のステッカーを、札幌国際プラザが札幌市内の宿泊施設に配布するというアイデアを提案。

これにより、イスラム教徒がお祈りをしやすくなり札幌での滞在がより快適となること、加えて MICE 招致のアピールポイントにもなることから、外国人観光客の増加が見込めることを力説しました。



事業化に向けて準備中！

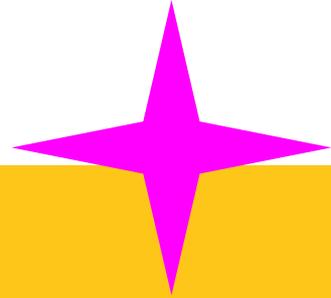


## 優秀賞

「札幌の姉妹都市」

発表者：札幌藻岩高校1年 秋元弥生・原田真美

札幌の姉妹都市であるドイツ・ミュンヘン市は「ミュンヘン・クリスマス市」による認知度が高いが、その他の姉妹都市を知っている人は少ないことに着目。姉妹都市の現地で行われているイベントを札幌のイベントに「+α」し、姉妹都市を身近なものとし、外国への関心を高めることを提案。一押し具体例として「ライラック祭り+ローズフェスティバル」が上げられました。



## 優秀賞

「4Tさっぽろ～ENJOY SAPPORO」

発表者：札幌新川高校1年 遠藤レイ・楠野真彩

目指す札幌像として「4Tさっぽろ」一つたえる・つながる・つなげる・つみあげる一を掲げ、そのための事業として、姉妹都市5都市の高校生同士によるビデオレター交流を提案。ビデオレター交流の結果を地下歩行空間のイベントで展示上映し、この様子を姉妹都市へ映像として送るなど、一度きりで終わらず将来へ向けてつなげる交流とするための仕掛けも考案されました。



## 審査員特別賞

「人々が交流する街に～国際都市へ向けて～」

発表者：札幌開成高校2年 乙井春樹・中野祐輔

「街コン」と「ガール」から『ガルコン』と名付けたイベントを提案。「コン」には独自にコンセプトとしての3つの意味（①Conversation（会話）②Connection（繋がり）③Continuation（継続））を付随。具体的には、少人数で日本人と外国人がじっくり会話を楽しむ中から、外国人との繋がりや利用店舗周辺との繋がりをつくり出すというもので、何度も継続することで多文化交流や地域経済の活性化にもなるとの展望が語られました。

